

提供情報について

85製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 服用や過量	用法用量	効能	
					適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
No.	小分類	No.	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転、服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外	トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項	
3	解熱鎮痛薬	2	解熱鎮痛薬	解熱鎮痛成分	アスピリン	アスピリン	バイエルアスピリン	本剤または他のアスピリン製剤によるアレルギー既往歴、本剤または他の解熱鎮痛薬・かぜ薬による喘息既往歴、15歳未満の小児、胃・十二指腸潰瘍、出血傾向、出産予定日12週以内の妊婦	他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬	長期連用は避ける。	服用中は飲酒しない。	医師・歯科医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、高齢者、本人または家族のアレルギー体質、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍既往歴	ショック(アナフィラキシー)皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)、喘息	発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、食欲不振、胸焼け、胃痛、消化不良、出血、めまい、浮腫、貧血、耳鳴、難聴	5-6回服用してもよくならない場合	1回500mg、1日3回まで。服用間隔は4時間以上あける。なるべく空腹時は避ける。15歳未満の小児は服用しないこと。	頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・月経痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱
				アセトアミノフェン	アセトアミノフェン	タイレノールA	本剤によるアレルギー既往歴、本剤または他の解熱鎮痛薬・かぜ薬による喘息既往歴	他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬	長期連用は避ける。	服用時は飲酒しない。	医師または歯科医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、高齢者、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍	ショック(アナフィラキシー)、皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)、肝機能障害、喘息	発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、食欲不振、めまい	5-6回服用しても症状がよくなりません。	次の量を服用。ただし、かぜによる悪寒・発熱時には、なるべく空腹時をさけて服用(15歳以上)900mg、15歳未満服用しない。1日3回まで。服用間隔は4時間以上おく。	頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱	
				イブプロフェン	イブプロフェン	イブ	本剤による過敏症既往歴、本剤または他の解熱鎮痛薬・かぜ薬による喘息既往歴	他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬	長期連用は避ける。	服用時は飲酒しない。	医師・歯科医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、授乳中、高齢者、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病	ショック(アナフィラキシー)、皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)、肝機能障害、腎臓病、無菌性髄膜炎、喘息	発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、めまい、目のかすみ、耳なり、むくみ/便秘、下痢	5-6回服用しても症状がよくなりません。	大人15歳以上1回150mg、1日3回まで。なるべく空腹時をさけて服用。服用間隔は4時間以上あける。15歳未満は服用しないこと。	頭痛・歯痛・生理痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・腰痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱	

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
No	小分類	No	タイトル				適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
4	催眠鎮静薬	3	催眠鎮静薬		塩酸ジフェン ヒドラミン	塩酸ジフェン ヒドラミン	ドリエル	妊婦または妊娠 の可能性、15歳 未満の小児、日 常的に不眠の 人、不眠症の診 断を受けた人	他の催眠鎮静 薬、かぜ薬、解 熱鎮痛薬、鎮咳 去痰薬、抗ヒス タミン剤を含有 する内服薬(鼻 炎用内服薬、鼻 物酔い薬、アレ ルギー用薬)	寝つきが 悪い時や 眠りが浅 い時のみ の服用に とどめ、 連用しな い。	乗物または機械 類の運転操作を しない、授乳中 の人は本剤を服 用しないか、本 剤を服用する場 合は授乳を避け る、服用時は 飲酒しない。	医師の治療を受 けている人、高 齢者、本人また は家族のアレル ギー体質、薬に よるアレルギー 既往歴、排尿困 難、緑内障、前 立腺肥大	まれに下記の 重篤な症状が 起こることが あるので、直 ちに受診な ど。	服用後、次の 症状が現れた 場合、相談す ること。など	相談すること に出てくる事項 で、左の3項目 以外	翌日まで 眠気が続 いたり、 だるさ を感じる ことがある。	就寝前以外 は服用しな い。	寝つきが悪い 時や眠り が浅い時、 大人1日1回 50mgを就寝 前に服用 15歳未満 は服用しな いこと。	一時的な不眠の 次の症状の緩和： 寝つきが悪い、 眠りが浅い
5	眠気防止薬	4	眠気防止薬	中枢神経興奮 成分	無水カフェイン	無水カフェイ ン	カーフェン ト錠	胃酸過多、心臓 病、胃潰瘍	コーヒーやお茶 などのカフェイ ンを含有する飲 料	短期間の 服用にと どめ、連 用は避け る。		妊婦または妊娠 の可能性、授乳 中の人	食欲不振、悪 心・嘔吐、ふ るえ、めま い、不安、不 眠、頭痛、ど うき			成人(15歳 以上)1回93 ~186mg、1 日465mgま で、続けて 服用する必 要がある場 合は4時間 以上の間隔 をあける。 15歳未満 は服用しな いこと。	眠気の除去		
6	鎮うん薬 (乗物酔防 止薬、つわ り用薬を含 む)	5	鎮うん薬 (乗物酔防 止薬、つわ り用薬を含 む)	抗ヒスタミン	塩酸メクリジ ン	塩酸メクリジ ン	センバア S		他の乗物酔い 薬、かぜ薬、解 熱鎮痛薬、鎮静 薬、鎮咳去痰 薬、抗ヒスタミ ン剤を含有する 内服薬(鼻炎用 内服薬、アレ ルギー用薬)		乗物または機械 類の操作をし ない。	医師の治療を受 けている人、妊 婦または妊娠の 可能性、本人ま たは家族のアレ ルギー体質、薬 によるアレル ギー既往歴、排 尿困難、緑内障	発疹・発赤、 かゆみ、排尿 困難/口のか わき、便秘			15歳以上； 1回25mg、1 日2回まで。 乗物酔いの 予防には乗 車船の30分 前に服用。4 時間以上の 間隔をあ ける。	乗物酔いによる めまい・吐 き気・頭痛の 予防及び緩和		

提供情報について

8 5 製品群		ワークシート		特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル				適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
							次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること、など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外	トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項	
8	その他の精神神経用薬	6	その他の精神神経用薬		コンドロイチン硫酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム					医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴		発疹・発赤、かゆみ、下痢	1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合。	服用時に錠剤をそのまま口の中に入れてと口中に付着することがある。多めの水またはぬるま湯と一緒に服用する。小児には服用しないこと。	1回520mg、1日3回	関節痛、神経痛、腰痛、五十肩、神経性難聴、音響外傷性難聴、疲労回復	

提供情報について

85 製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名		製品名 (一般用医薬品)		してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル							適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
9	ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬	7	ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬	H2ブロッカー	シメチジン	シメチジン	アルサメック錠	H2ブロッカーによるアレルギー既往歴、医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人：血液の病気、腎臓・肝臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤、医師から赤血球数が少ない・血小板数が少ない・白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人、小児（15歳未満）および高齢者（80歳以上）、妊婦または妊娠の可能性、授乳婦	他の胃腸薬	次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、か過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
										乗物または機械類の運転操作をしない。（眠気、めまい、混乱感があらわれることがある。）			医師の治療を受けている人または他の医薬品を服用している人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、高齢者（65歳以上）（一般に高齢者は生理機能が低下していることがある）、次の症状のある人：のどの痛み・咳および高熱（これらの症状のある人は重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがある。服用前にこのような症状があると本剤の服用によって症状が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがある。）・原因不明の体重減少・持続性の腹痛（他の病気が原因であることがある）	ショック（アナフィラキシー）、皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）、肝機能障害	発疹・発赤、かゆみ、はれ、頭痛、手足のしびれ・こわばり感、動悸、発熱、脱力感、倦怠感、感冒様症状、皮下・粘膜下出血、全身のむくみ・血尿/便秘、下痢、口のかわき	誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合。		本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控える。	胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時、下記の1回服用量を水またはお湯で服用する。大人（15歳以上、80歳未満）1回100mg、1日3回まで。小児（15歳未満）は服用しない。高齢者（80歳以上）は服用しない。服用後4時間以上たっても症状が治まらない場合はもう1錠服用する。2回目の服用後4時間以上たっても症状が治まらない場合はもう1錠服用する。症状が治まった場合は服用を止める。3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師または薬剤師に相談。2週間を超えて続けて服用しない。		胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき（本剤はH2ブロッカー薬を含んでいる）（効能・効果に関連する注意）効能・効果に記載以外の症状では本剤を服用しない

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
No	小分類	No	タイトル	適応禁忌	併用禁忌			長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他	患者の背景	重篤な副作用					一般的な副作用
				ファモチジン	ファモチジン	ガスター10	H2ブロッカー薬によるアレルギー既往歴、医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人：血液の病気、腎臓・肝臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤、医師から赤血球が少くない・血小板が少ない・白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人、小児（15歳未満）及び高齢者（80歳以上）、妊婦または妊娠の可能性、授乳中。	他の胃腸薬					医師の治療を受けている人または他の医薬品を服用している人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、高齢者（65歳以上）（一般に高齢者は生理機能が低下していることがある）、次の症状がある人：のどの痛み・咳及び高熱（これらの症状のある人は重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められる場合がある。服用前にこのような症状があると本剤の服用によって症状が悪化し、また、本剤の副作用に気づくのが遅れることがある）・原因不明の体重減少・持続性の腹痛（他の病気があることがある）	ショック（アナフィラキシー）、皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	発疹・発赤、かゆみ、はれ、気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなどの体調異常があらわれる。／便秘、軟便、下痢、口のかわき	誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合。		本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控える。	胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時、下記の1回の量を水またはお湯で服用する。成人（15歳以上、80歳未満）10mg、1日2回まで。小児（15歳未満）は服用しない。高齢者（80歳以上）は服用しない。服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合はもう1錠服用する。症状が治まった場合は服用を止める。3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師または薬剤師に相談。2週間を超えて続けて服用しない。	胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき（本剤はH2ブロッカー薬を含んでいる） 〈効能・効果関連する注意〉効能・効果に記載以外の症状では本剤を服用しない

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル		(その他)			適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
								次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
14	制酸・健胃・消化・整腸を2以上標榜するもの	12	制酸・健胃・消化・整腸を2以上標榜するもの	副交感神経遮断成分	(その他)	オキセサゼイン	サクロンQ	妊婦または妊娠の可能性、15歳未満の小児	他の胃腸薬(ロートエキス含有する製剤)、他の胃腸鎮痛鎮痙薬	長期連用は避ける。		医師の治療を受けている人、高齢者、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴	発疹・発赤、かゆみ、頭痛、めまい、脱力感/便秘	5-6回服用しても症状がよくなる場合。		かまずにすぐのみこむ(口内しびれが残る)。	成人15歳以上1回10mg、1日3回まで。服用間隔は4時間以上あける。 15歳未満は服用しないこと。	胃痛、腹痛、はきけ(むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔吐、さしこみ(疝痛、痙)、胸やけ、胃酸過多、胃部不快感、げっぷ(おこひ)	
15	胃腸鎮痛鎮痙けい薬	13	胃腸鎮痛鎮痙けい薬	副交感神経遮断成分	臭化ブチルスコポラミン	臭化ブチルスコポラミン	ブスコパンA錠	他の胃腸薬(ロートエキス含有する製剤)、他の胃腸鎮痛鎮痙薬		乗物または機械類の運転操作をしない(目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある)。		医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、高齢者、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、排尿困難、心臓病、緑内障	発疹・発赤、かゆみ、頭痛、顔のほてり、異常なまぶしさ、排尿困難/便秘、口のかわき	数回服用しても症状がよくなる場合。		10mgを1日3回を限度として服用。服用間隔は4時間以上あける。 15歳未満の小児には服用しないこと。	胃痛、腹痛、さしこみ(疝痛、痙)、胃酸過多、胸やけ		
16	止瀉薬	14	止瀉薬	腸内殺菌成分	塩化ベルベリン	塩化ベルベリン	ワカ末錠					医師の治療を受けている人、発熱を伴う下痢、血便、粘液便のある人、高齢者		5-6日間服用しても症状がよくなる場合		1日3回食後に服用。成人(15歳以上)960mg、1日服用回数3回。8歳以上15歳未満480mg、1日服用回数3回。	下痢、消化不良による下痢、食あたり、はき下し、水あたり、くだり腹、軟便		

提供情報について

85 製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名		製品名 (一般用医薬品)		してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
No	小分類	No	タイトル							適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
				その他の止 しゃ成分	塩酸ロベラミ ド	塩酸ロベラミ ド	シグナル下痢 止め	本剤によるアレ ルギー既往歴	胃腸鎮痛鎮痙薬				服用時は飲酒し ない。	医師の治療を受 けている人、発 熱を伴う下痢の ある人、血便の ある人または粘 液便の続く人、 急性の激しい下 痢または腹痛・ 腹部膨満・はき け等の症状を伴 う下痢のある人 (本剤で無理に下 痢を止めるとか えって病気を悪 化させることが ある)、便秘を避 けなければならない肛門疾患等 のある人(服用に より便秘が発現 することがあ る)、妊娠または 妊娠の可能性、 高齢者、本人ま たは家族のアレ ルギー体質、薬 によるアレルギー 既往歴、食 あたり・水あたり による下痢の 人	まれに下記の 重篤な症状が 起こることが あるので、直 ちに受診な ど。	服用後、次の 症状が現れた 場合、相談す ること、など	相談すること に出てくる事項 で、左の3項目 以外			トローチの 口内で徐々 に溶かして とか、口内 が痺れるの ですぐに飲 み下す、と か過量に飲 んだ場合の 注意など	用法用量の 項	効能の項
17	瀉下薬(下 剤)	15	瀉下薬(下 剤)	刺激性下剤成 分	ピコスル ファート	ピコスル ファートナト リウム	コーラックソ フト		他の瀉下薬(下 剤)			大量に服用しな い。	医師の治療を受 けている人、妊 娠または妊娠の 可能性、はげし い腹痛、悪心・ 嘔吐		はげしい腹 痛、悪心・嘔 吐/下痢	1週間位使用し ても症状がよく ならない場合。			15歳以上;1 回5~ 7.5mg、1日1 回就寝前 (または空 腹時)に服 用。初回は 最小量を用 い、便通の 具合や状態 をみながら 少しずつ増 量または減 量。 15歳未満 は服用しな いこと。	便秘、便秘に伴 う次の症状の緩 和:頭重、のぼ せ、肌あれ、吹 出物、食欲不振 (食欲減退)、 腹部膨満、腸内 異常発酵、痔		

提供情報について

8 5 製品群		ワークシート		特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル				適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
							次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
				ピサゴジル	ピサゴジル	コーラック			他の瀉下薬(下剤)		大量に服用しない。	医師の治療を受けている人、妊娠または妊娠の可能性、はげしい腹痛、悪心・嘔吐		はげしい腹痛、悪心・嘔吐/下痢	1週間位使用しても症状がよくなる場合。		15歳以上; 1日10mg、1日1回就寝前または排便期待数時間前に服用。かまずに服用。なるべく空腹時に、制酸剤や牛乳を飲んでから1時間以内の服用は避ける。錠剤をかんだり、つぶしたりせずそのまま服用する。	慢性便秘、常習性便秘
				(その他)	マルツエキス	和光堂マルツエキス			他の瀉下薬(下剤)			医師の治療を受けている乳幼児、1ヶ月未満の乳児(新生児)、はげしい腹痛・嘔吐のある乳幼児		/下痢	1週間位服用しても症状がよくなる場合。	便通不足は、母乳不足または調整乳希釈方法の誤りにより起こることがある。	1歳未満の乳児には、授乳前に50~100mLの温湯かミルクに加え与える。また、1歳以上3歳未満の幼児には、そのままか50~100mLの温湯かミルクに加え与える。1歳以上3歳未満9~15g、6ヶ月以上1歳未満6~9g、6ヶ月未満3~6g、1日3回を限度。	乳幼児の便秘、乳幼児の発育不良時の栄養補給

提供情報について

8.5 製品群	ワークシート	特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能		
					適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他						
No	小分類	No	タイトル			次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。		次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしていき、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
18	浣腸薬	16	浣腸薬	直腸大腸刺激成分	グリセリン	グリセリン (浣腸剤)	イチジク浣腸			連用は避ける。 (常用すると、効果が減弱し(いわゆる“なれ”が生じ)薬剤にたよりがちになる)				2-3回使用しても排便がない場合。	たちくらみ、肛門部の熱感。不快感があらわれことがある。	使用後は便意が強まるまでしばらくがまん。浣腸にたよりすぎない。浣腸のみを使用(内服しない)。	50%グリセリンを直腸内に注入。効果のみならはさらに同量をもう一度注入。 12歳未満には使用しないこと。 *年齢に応じて使用する製品とグラム数が異なる。	便秘
				ピサコジル	ピサコジル (坐剤)	ソージー-Q			連用は避ける。		医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、本人または家族のアレルギー体質		はげしい腹痛、悪心・嘔吐	2-3回使用しても排便がない場合。	肛門部の刺激感、腹部不快感、腹痛があらわれることがある。	12歳以上1日1回、1個(10mg)を直腸内に挿入。1日2個を限度。	便秘	
19	駆虫薬	17	駆虫薬	駆虫成分	パモ酸ピルビニウム	パモ酸ピルビニウム	パモキサン液		他の駆虫薬、ヒマシ油	2回以上続けて服用しない。再度駆虫を必要とする場合は、1ヵ月以上の間隔をおく。				効果がみられない場合	ぎょう虫はヒトの口から容易に感染するので、手をよく洗うなど家族感染に注意する。	1日1回、8~10歳：120mg(ピルビニウム塩基として)、5~7歳：60mg、3~4歳：48mg、1~2歳：36mg、3~11カ月：24mg。2回以上続けて服用しない。	ぎょう虫の駆除	

提供情報について

85 製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名		製品名 (一般用医薬品)		してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル							適応禁忌	併用禁忌	長期連用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他		誤用や過量		
										次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
23	動脈硬化用薬 (リノール酸、レシチン主薬製剤等)	18	動脈硬化用薬 (リノール酸、レシチン主薬製剤等)	高コレステロール改善成分	ポリエンホスファチジルコリン	ポリエンホスファチジルコリン	エサヘパンス							医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、悪心、胃部不快感、胸やけ、腹部膨満感/下痢、軟便		薬剤の服用は食事療法の補助療法です。本剤を服用しても現に行っている食事療法を続ける。		15歳以上1回500mg、1日3回食後に服用 15歳未満は服用しないこと	血清高コレステロールの改善
					酪酸リポラビン	酪酸リポラビン	スリムノール							医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、悪心・胃部不快感、胸やけ/下痢				15歳以上1回2錠(30mg)、1日2回食後に服用	血清高コレステロールの改善
26	鎮咳去痰薬	20	鎮咳去痰薬	-	(その他)	ナンテン実エキス(喉飴)	トキワナンテン喉飴							医師または歯科医師の治療を受けている人、妊婦または妊娠の可能性、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、高熱		発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、食欲不振、めまい	5-6回服用しても症状がよくなりません。	1錠ずつ口の中に含み、かまずにゆっくり溶かす。	成人(15歳以上)は1回167mg、8歳以上15歳未満は1回111mg、5歳以上8歳未満は1回56mgを1日3回服用。服用間隔は2時間以上あける。	せき、のどの炎症による声かれ・のどのあれ・のどの不快感・のどの痛み・のどのほれ	
27	含嗽薬	21	含嗽薬		ポビドンヨード	消化器官用薬	イソジンうがい薬							本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、口内のひどいだけ、甲状腺機能障害	アナフィラキシー様症状	あれ、しみる、灼熱感、刺激感、悪心、不快感	5-6回使用しても症状がよくなりません。	うがい用だけに使用し、キズややけどへの使用や内服はしない。目に入らないよう注意。症状が重い場合には眼科医の診療を受ける。	0.7%ポビドンヨード1回2~4mL(1~2目盛)を水約60mLにうすめて、1日数回うがいを繰り返す。	口腔内及びびどの殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去	

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分	成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル				適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
							次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
				(その他)	グルコン酸クロルヘキシジン(含嗽剤)	パフロンうがい薬	本剤またはグルコン酸クロルヘキシジンによるアレルギー既往歴、口内の傷やひどいただれ				医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴	ショック(アナフィラキシー)	発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感	5-6日間使用しても症状がよくなる場合。		0.9%グルコン酸クロルヘキシジン1回0.25mL(6~8滴)を水またはぬるま湯100mL(コップ約半分)うすめて、1日数回(3~5回)うがいする。うがい用のみ使用。使用する時のみうすめ、うすめた液は早めに使用。	口腔内の殺菌・消毒・洗浄	
					ヨウ素(口腔用)	セピールゴールショット					医師または歯科医師の治療を受けている人、本人または家族のアレルギー体質、薬によるアレルギー既往歴、口内のひどいただれ、ヨウ素によるアレルギー既往歴、甲状腺の疾患、妊婦または妊娠の可能性、授乳中の人	アナフィラキシー様症状	あれ、しみる、灼熱感、刺激感、悪心、不快感	気管、食道、胃腸、皮膚、目、その他、身体各部に異常を感じた場合。5-6回使用しても症状がよくなる場合。		塗布用のみ使用し内服しない。軽く息をはきながら噴射。薬液を誤って大量に飲みこんだ時は直ちに医師の診療を受ける。目に入らないよう注意。万一目に入った場合にはすぐに水またはぬるま湯で洗い流し、直ちに眼科医の診療を受ける。	0.6%ヨウ素1日数回、直接のどの粘膜面に噴射塗布するか、または綿棒に本剤を浸みこませて、患部に塗布	のどの殺菌・消毒

提供情報について

85製品群	ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能	
							適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他					
No	小分類	No	タイトル				次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。		次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
32	ビタミンA 主薬製剤	25	ビタミン主 薬製剤	ビタミンA	ビタミンA	ビタミンA油	ステイタスA					医師の治療を受けている人、妊娠3か月以内の妊婦、妊娠していると思われる人または妊娠を希望する人(妊娠3か月前から妊娠3か月までの間にビタミンAを1日10,000I.U.(国際単位)以上摂取した妊婦から生まれた児に先天異常の割合が上昇したとの報告がある。)		かゆみ、悪心・嘔吐	1か月位服用しても症状がよくなる場合。		15歳以上1回4mg、1日1回、7歳以上15歳未満1回2mg、1日1回、7歳未満は服用しないこと	次の症状の緩和：目の乾燥感、夜盲症(とり目)、次の場合のビタミンAの補給：発育期、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時	
33	ビタミンD 主薬製剤			ビタミンB1	ビタミンB1	塩酸フルスルチアミン	ステイタスB1錠						悪心・嘔吐・口内炎/軟便、下痢	1か月位服用しても症状がよくなる場合。		15歳以上：1回50mg、7歳以上15歳未満：1回25mg、1日1～2回服用。1日2回の場合は朝夕。	次の諸症状の緩和：神経痛、筋肉痛・関節痛(腰痛、肩こり、五十肩など)、眼精疲労、手足のしびれ、便秘、脚気。(ただし、上記の症状について、1か月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンB1の補給：肉体的疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。		

提供情報について

85 製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名		製品名 (一般用医薬品)		してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル							適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
										次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
34	ビタミンE 主薬製剤			ビタミンB2	ビタミンB2	リン酸リボフラビン	ステイタスB2錠									胃部不快感、胃部膨満感、食欲不振、悪心・嘔吐/下痢	1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合。			15歳以上：20mg、7歳以上15歳未満：10mg、1日1回服用。7歳未満は服用しないこと	次の諸症状の緩和：口内炎、口角炎、口唇炎、舌炎、肌あれ、湿疹、皮ふ炎、にきび、かぶれ、ただれ、目の充血、目のかゆみ、赤鼻。 (ただし、上記の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンB2の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。
35	ビタミンB1 主薬製剤			ビタミンB6	ビタミンB6	リン酸ピリドキザール	ステイタスB6錠									悪心・嘔吐、食欲不振、腹部膨満感	1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合。			15歳以上：60mg、7歳以上15歳未満：30mg、1日1回服用。7歳未満は服用しないこと	次の諸症状の緩和：湿疹、皮ふ炎、にきび、肌あれ、かぶれ、ただれ、口内炎、口角炎、口唇炎、舌炎、手足のしびれ。 (ただし、上記の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンB6の補給：妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時。

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の 注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
No	小分類	No	タイトル		(その他)			適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
								次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいずれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外		トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項
						d-α-トコフェロール	ネーブルエクセル					医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、腎部不快感/便秘、下痢	1か月位服用しても症状がよくならない場合。生理が予定より早くきたり、経血量がやや多くなったりすることがある。出血が長く続く場合は、医師または薬剤師に相談。			1回100mgを1日1~3回服用する場合は朝晩、3回服用する場合は朝昼晩	末梢血行障害による次の諸症状の緩和：肩・首すじのこり、手足のしびれ・冷え、しもやけ。更年期における次の諸症状の緩和：肩・首すじのこり、冷え、手足のしびれ、のぼせ。月経不順。ただし、1か月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談) 次の場合のビタミンEの補給：老年期
						コレカルシフェロール	ステイタスD3					医師の治療を受けている人		悪心・嘔吐/下痢	1か月位服用しても症状がよくならない場合。			15歳以上1回0.01mg、1日1回、7歳以上15歳未満1回0.005mg、1日1回。7歳未満は服用しないこと	骨髄の発育不良、くる病の予防、次の場合のビタミンDの補給：発育期、妊娠・授乳期、老年期
44	カルシウム 主薬製剤	27	カルシウム 主薬製剤	カルシウム補 給成分	グルコン酸カルシウム	グルコン酸カルシウム	バイランCa					医師の治療を受けている人		発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、胃痛、食欲不振/下痢、便秘	長期運用する場合。			1回量15歳以上20mL、11歳以上15歳未満15mL、7歳以上11歳未満10mL、3歳以上7歳未満5mL、1歳以上3歳未満2.5mL。1日1~2回。 (40mL中グルコン酸Ca 3000mg)	次の場合の骨髄の発育促進：虚弱体質、腺病質、妊娠授乳期の骨髄の脆弱防止。

提供情報について

85製品群		ワークシート		特掲した成分		成分名	製品名 (一般用医薬品)	してはいけないこと				相談すること				その他の注意	使用方法 誤用や過量	用法用量	効能
								適応禁忌	併用禁忌	長期運用	その他	患者の背景	重篤な副作用	一般的な副作用	その他				
No	小分類	No	タイトル					次の人は服用しないでください。など	本剤服用中は次のいづれも服用しないでください。など	長期に使用しないでください。	服用後の車の運転。服用中の飲酒など。	次の人は医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。など	まれに下記の重篤な症状が起こることがあるので、直ちに受診など。	服用後、次の症状が現れた場合、相談すること。など	相談することに出てくる事項で、左の3項目以外	トローチの口内で徐々に溶かしてとか、口内が痺れるのですぐに飲み下す、とか過量に飲んだ場合の注意など	用法用量の項	効能の項	
				-	(その他)	ボレイ末	ゼリアカルシウム液					医師の治療を受けている人		/便秘	長期運用する場合。		1回量15歳以上20～40mL、11歳以上15歳未満15～30mL、7歳以上11歳未満10～20mL、3歳以上7歳未満5～10mL、1歳以上3歳未満1回2.5～5mL。1日1回。(40mL中ボレイ末842mg)	次の場合の骨歯の発育促進：虚弱体質、腺病質、妊娠授乳期の骨歯の脆弱防止	